

接着剤使用方法

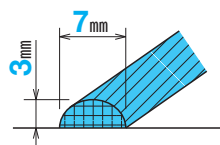
■対応接着剤 接着剤は別売です。

KQ8815 雨とい用接着剤

- チューブ入り
- 高粘度タイプ



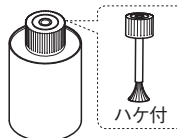
接着剤塗布量の目安



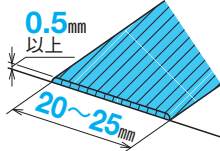
- 接着剤は必ず当社接着剤KQ8815、またはKAL8925をお使いください。
(水漏れおよび、溶剤による部材の変形防止のため)
- 施工後接着力が最大になるのは20～30時間後です。
接着後2～3時間は荷重をかけないでください。

KAL8925 大型たてとい Chic Line用接着剤

- 缶入り(ハケ塗用)
- 低粘度タイプ

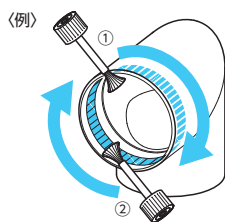
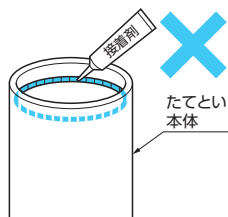


接着剤塗布量の目安

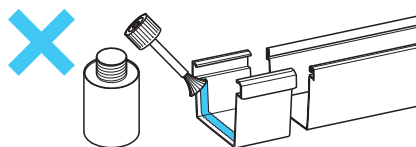


お願い

- KAL8925は、接着剤が乾燥してしまうと、たてといが差し込めなくなるおそれがありますので速やかに差し込んでください。
- はみ出したら綺麗な乾いた布ですぐにふき取ってください。
- たてとい本体に直接接着剤を塗布しないでください。
- 一度で塗れない場合は複数回に分けて切れ目なく塗布してください。



- KAL8925はChic Line以外の製品には使用しないでください。
水漏れにより、建物を傷めるおそれがあります。



エルボ、継手の取り付け方法

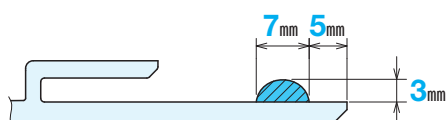
(1) 部材内面に接着剤を塗布する。(当社接着剤)

【KQ8815(チューブ入り)使用の場合】

接着剤は全周ひも状に切れ目なく塗布する。

接着剤塗布量の目安

• KQ8815



※イメージ図は水下側形状です。

【KAL8925(ハケ塗用)使用の場合】

接着剤は部材内面の全周にかすれないように塗布する。

接着剤塗布量の目安

• KAL8925

厚みが出ない場合は複数回に分けて塗布してください。



※イメージ図は水下側形状です。

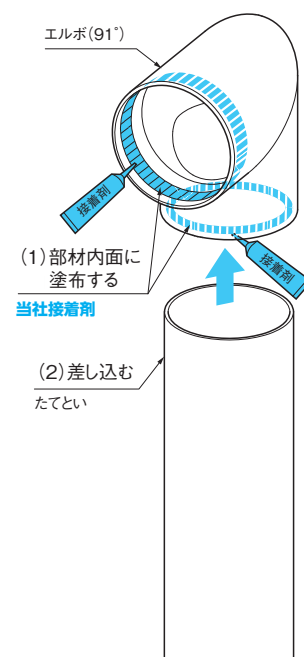
(2) たてといを差し込む。

下記の差し込み量を目安に、なるべく奥まで差し込む。

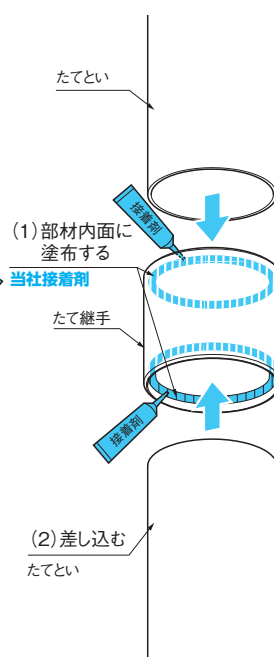
- 89サイズ : 30mm以上
- 114サイズ : 40mm以上

矢印(⇩)を水下側に向ける。(水下側は二重差し込み構造)

【エルボ(91°)の場合】

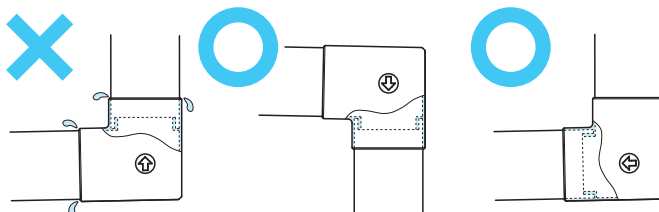


【たて継手の場合】



お願い

- 矢印(⇩)を水下側に向けてください。
水漏れにより、建物を傷めるおそれがあります。
- たてといをエルボの奥までしっかり差し込んでください。
水漏れにより、建物を傷めるおそれがあります。



T型継手の取り付け方法

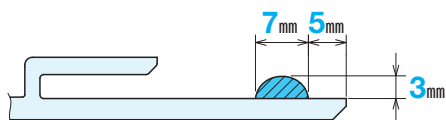
(1) T型継手内面に接着剤を塗布する。(当社接着剤)

【KQ8815(チューブ入り)使用の場合】

接着剤は全周ひも状に切れ目なく塗布する。

接着剤塗布量の目安

• KQ8815



※イメージ図は水下側形状です。

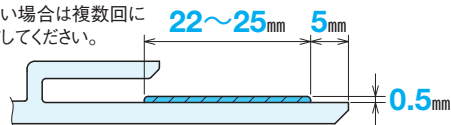
【KAL8925(ハケ塗用)使用の場合】

接着剤は部材内面の全周にかすれないように塗布する。

接着剤塗布量の目安

• KAL8925

厚みが出ない場合は複数回に分けて塗布してください。



※イメージ図は水下側形状です。

(2) たていを差し込む。

下記の差し込み量を目安に、なるべく奥まで差し込む。

• 89サイズ : 30mm以上

• 114サイズ : 40mm以上

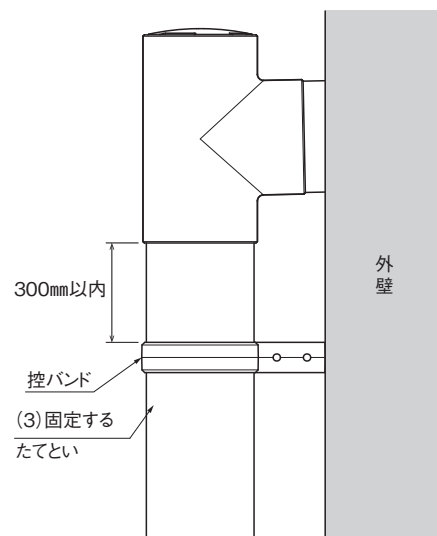
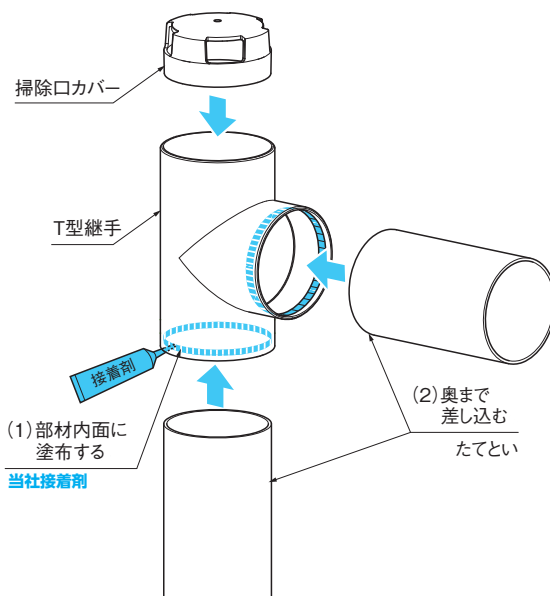
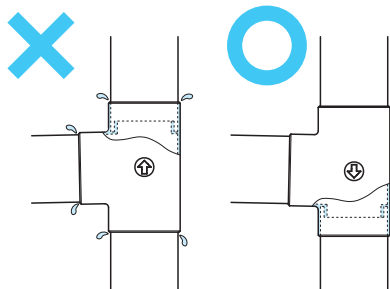
矢印(⇩)を水下側に向ける。(水下側は二重差し込み構造になっています。)

(3) 接続するたていの上をしっかりと固定する。

控バンドはT型継手より300mm以内に設置する。(強風、伸縮対策)

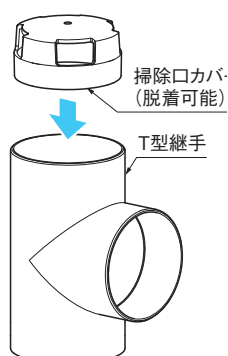
お願い

- 矢印(⇩)を水下側に向けてください。
水漏れにより、建物を傷めるおそれがあります。



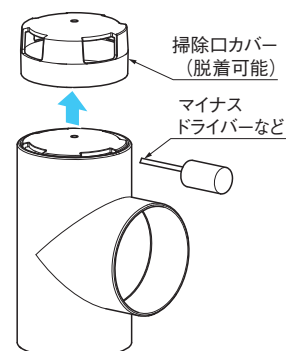
掃除口カバーの使用法

- 本商品はたてい内に落ち葉や虫などの侵入を防ぐための部材です。
- 掃除口カバーをしっかりと奥まで差し込む。



【掃除口カバーの取り外し方法】

- 掃除などでふたを外す際はマイナスドライバーなどを差し込んでください。

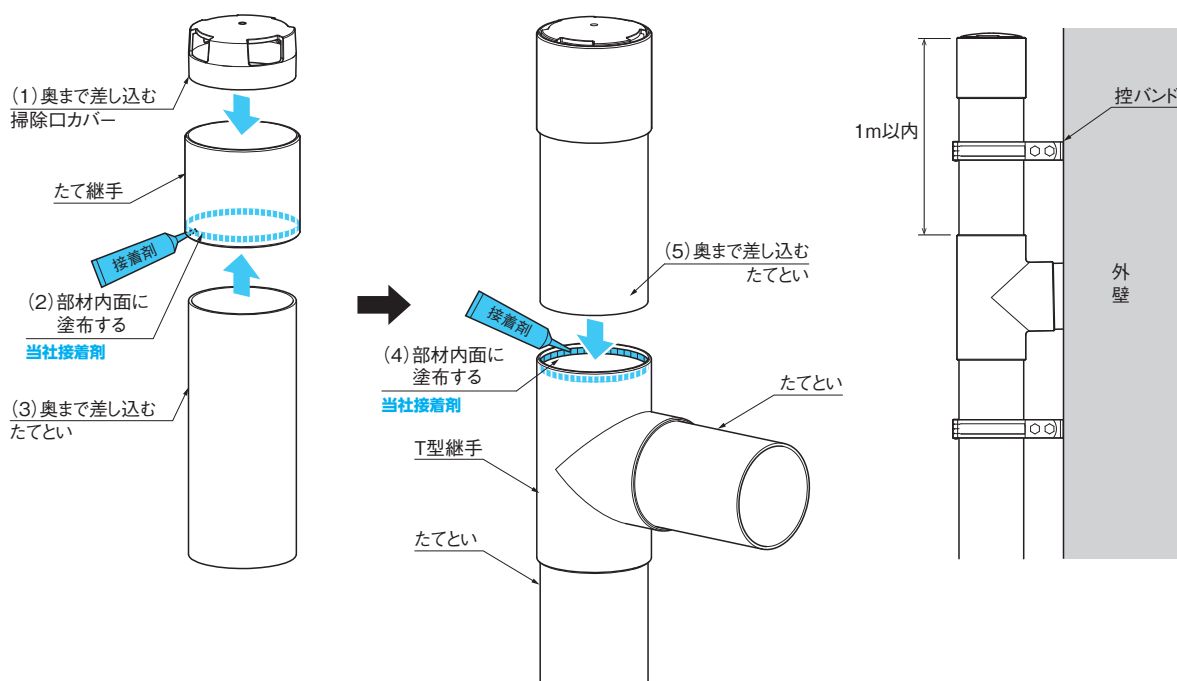


T型継手上部にたてといを延長する場合

- 図のようにたて継手を使用して連結する。

お願い

- 延長するたてといは、中央部を控バンドで固定してください。(強風による延長部の飛散防止のため)



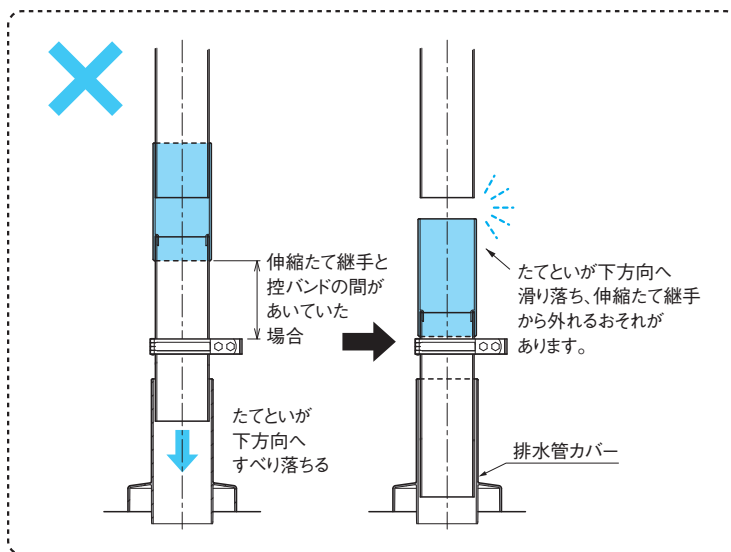
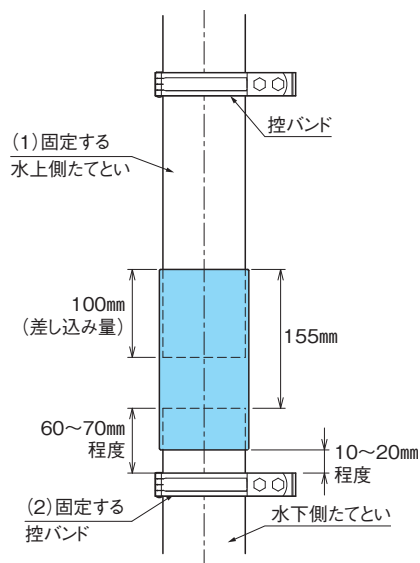
伸縮たて継手の取り付け方法

- たてといの差し込み寸法を厳守してください。(たてといの外れ防止のため)
- 垂直施工のみご使用いただけます。

(1) 水上側たてといを固定する。

水上側たてといの下端から100mmの位置に印を付ける。

(2) 控バンドで固定する。



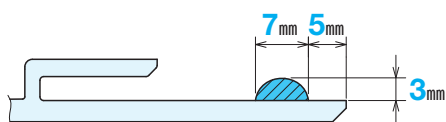
(3) 継手内面に接着剤を塗布する。(当社接着剤)

【KQ8815(チューブ入り)使用の場合】

接着剤は全周ひも状に切れ目なく塗布する。

接着剤塗布量の目安

・ KQ8815



※イメージ図は水下側形状です。

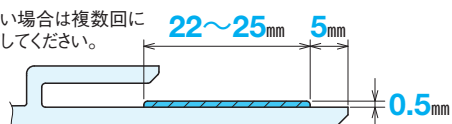
【KAL8925(ハケ塗用)使用の場合】

接着剤は部材内面の全周にかすれないように塗布する。

接着剤塗布量の目安

・ KAL8925

厚みが出ない場合は複数回に分けて塗布してください。



※イメージ図は水下側形状です。

(4) たてといを差し込む。

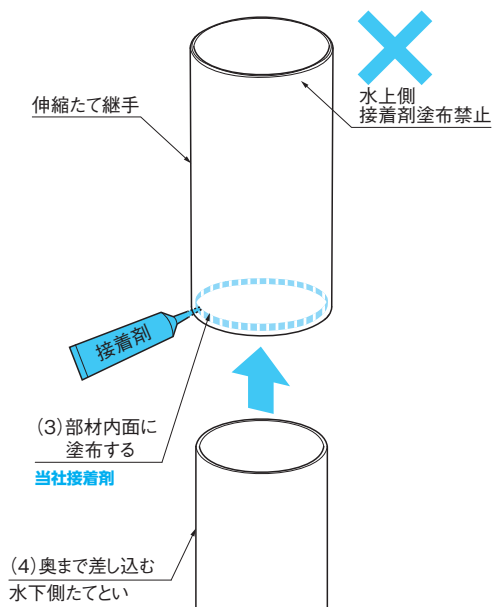
下記の差し込み量を目安に、なるべく奥まで差し込む。

・ 89サイズ : 30mm以上

・ 114サイズ : 40mm以上

矢印(↓)を水下側に向ける。

(水下側は二重差し込み構造になっています。)



排水管カバーの取り付け方法

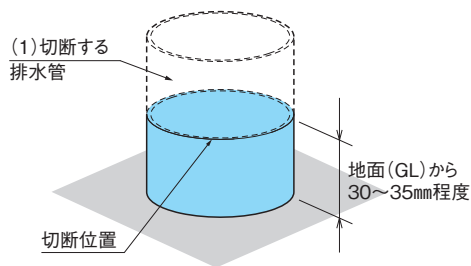
- たてといは排水管のセンターに合わせてください。(接続不能防止のため)

ご使用の目安	たてといの長さ H[m] ※垂直方向の施工長さ		
	6m未満	6～12m	12m以上
必要部材個数	「排水管カバー」の設置を推奨	1個以上 の伸縮処理部材が必要 「排水管カバー」+「伸縮継手」等	2個以上 +6m毎に 伸縮処理部材を追加

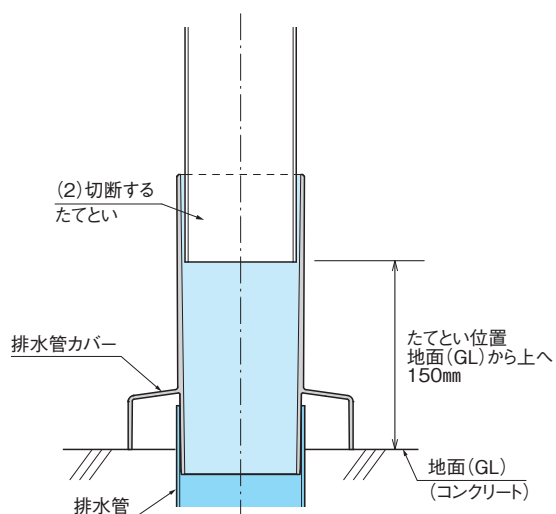
お願い

- たてといと排水管を接着したり、コンクリートに埋め込み固定することはおやめください。
水漏れにより、建物を傷めるおそれがあります。
- たてといと地面との隙間は150mm程度あけてください。たてといの伸縮により排水管カバーが破損するおそれがあります。

(1) 排水管は地面(GL)から30～35mmの位置で切断する。

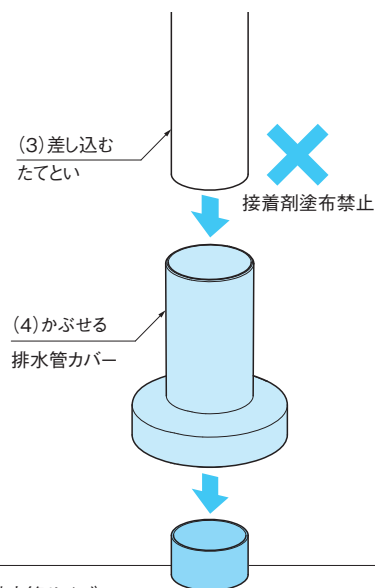


(2) 地面(GL)より150mm測定し、たてといを切断する。



(3) たてといを排水管カバーへ差し込む。

(4) 排水管カバーを排水管へかぶせる。



- 〈適用排水管サイズ〉
- 89サイズ：VP・VU100、VP・VU125、VP・VU150
 - 114サイズ：VP・VU125、VP・VU150

施工

施工手順と施工のポイント Chic Line

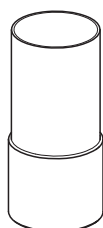
流速ノズルの施工

- 流速ノズル(高排水用)は、使用することでサイホン現象を誘発し排水能力を向上させる部材です。
- Chic Lineと組み合わせてご使用いただくことで、排水能力を向上させることができます。
※カラービニルパイプ(JIS管)等、他のたてといにはご使用いただけませんのでご注意ください。

部材の組み合わせについて

- 「大型雨とい高排水システム」の部材と、流速ノズル(高排水用)は併用できません。

サイフォン誘発部材

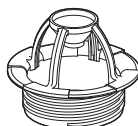


流速ノズル
(高排水用)

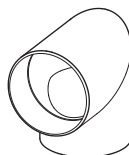


対応部材

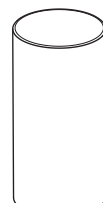
- Chic Line 高排水システム



自在ドレン
(Chic Line用)



エルボ(91°)・(135°)



伸縮たて継手

※たてといの内径が異なるため、「流速ノズル」とJIS管用商品の組み合わせ施工はできません。

■流速ノズル(高排水用)の取り付け方法

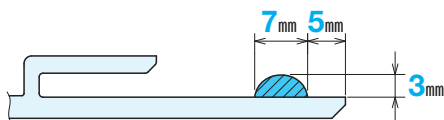
- (1) エルボ(91°)・(135°)や、たて継手、
流速ノズル(高排水用)内面に接着剤を塗布する。
(当社接着剤)

【KQ8815(チューブ入り)使用の場合】

接着剤は全周ひも状に切れ目なく塗布する。

接着剤塗布量の目安

- KQ8815



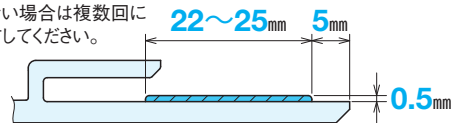
※イメージ図は水下側形状です。

【KAL8925(ハケ塗用)使用の場合】

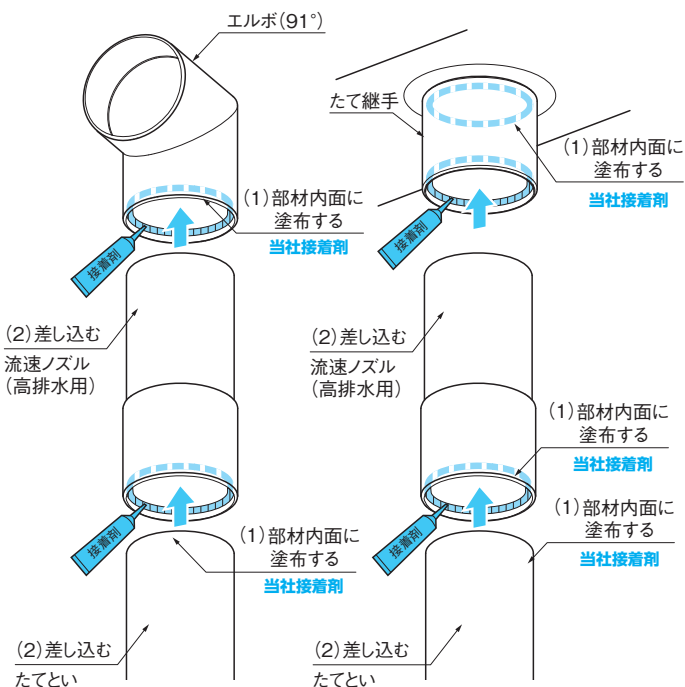
接着剤塗布量の目安

- KAL8925

厚みが出ない場合は複数回に分けて塗布してください。



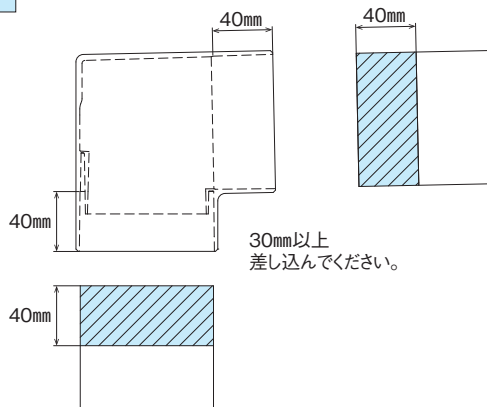
※イメージ図は水下側形状です。



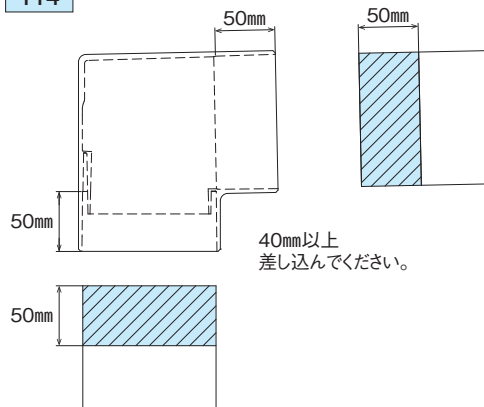
- (2) たてとい、流速ノズル(高排水用)を差し込む。
矢印(↓)を必ず水下側に向ける。
(水下側は二重差し込み構造になっています。)

差込寸法

89

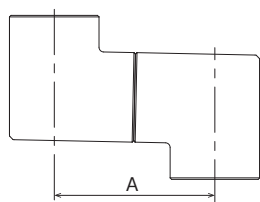


114

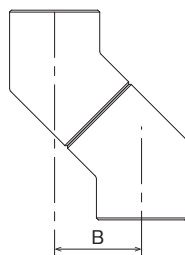


最小偏芯距離

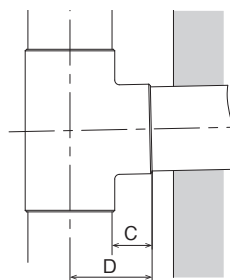
エルボ(91°)



エルボ(135°)



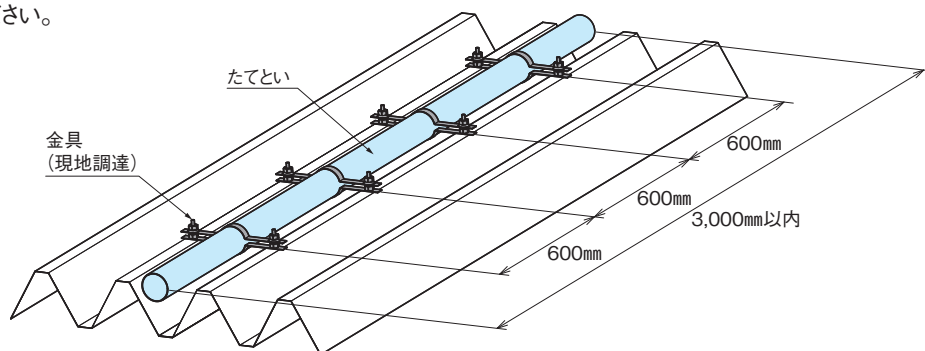
T型継手



サイズ	A	B	C	D
89	170mm	92mm	40mm	86mm
114	220mm	113mm	50mm	110mm

はいとい施工

- 陽光の影響を受けやすいため熱伸縮による変形対策として十分な固定を行ってください。
- 金具(現地調達)施工ピッチ：600mm
※ $t=2\text{mm}$ 以上の金具を使用してください。
- 施工全長:3mまで

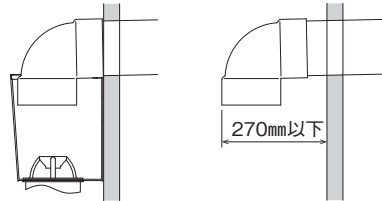


すっきり角ます(大)の取り付け方法

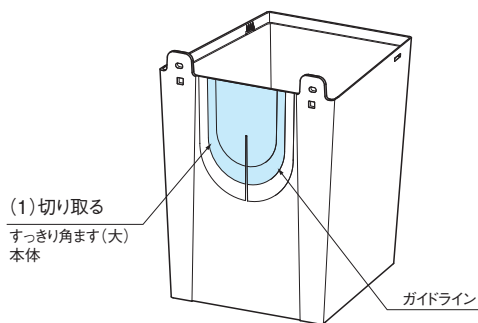
お願い

- 壁面から出る排水管が**VP・VU150**の場合は本体の背面を切り取らないでください。
- 呼び径150のエルボの先端は壁面から270mm以内に取り付けてください。270mmを超えると、**本体を取り付けられません**。
- 本体やふたの切断はプラスチック用のこぎりなど適切な工具を使用してください。本製品はプラスチック製品です。金属用の高速切断機やチップソー、電動のこぎりなどのプラスチックの割れの原因となるような工具の使用はお控えください。

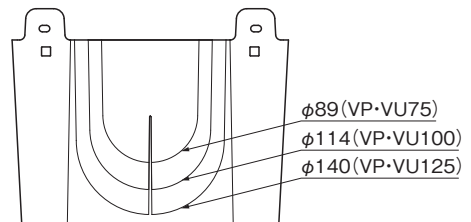
〈壁面から出る排水管がφ150の場合〉



- (1) 壁面から出る排水管のサイズに合わせて、本体の背面を切り取る。(VP・VU125以下)



- ガイドラインはφ89 (VP・VU75)、φ114 (VP・VU100)、φ140 (VP・VU125) です。
- ガイドラインはパイプの外径寸法です。エルボに合わせる場合はエルボの外径に合わせて切り取ってください。
- 切り取り後、バリを取り除いてください。

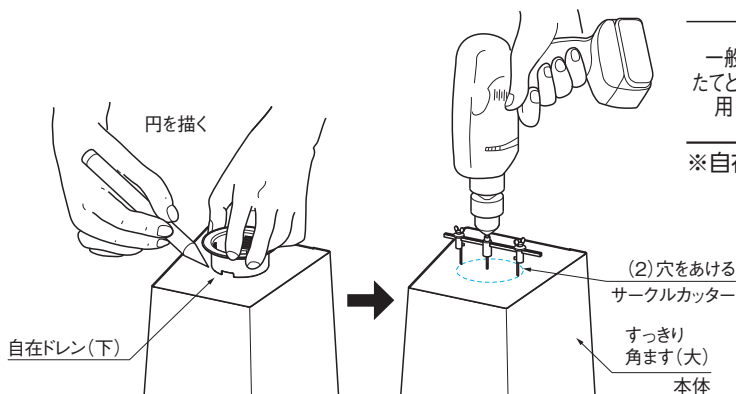
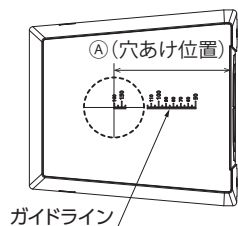


- (2) 本体底面の自在ドレンを取り付ける位置にサークルカッターで穴をあける。

- 円を描くときは、コンパスの他に、自在ドレン(下)のねじ部やたて継手の外径を使用できます。
- ドレン(上)を使用して描くと穴が小さくはまりませんのでご注意ください。

お願い

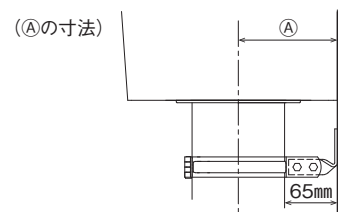
- 穴は底面のガイドラインに合わせて底面の中央にあけてください。底面の中央からズレると、本体の上面や切欠き部から水が溢れて、建物を傷めるおそれがあります。



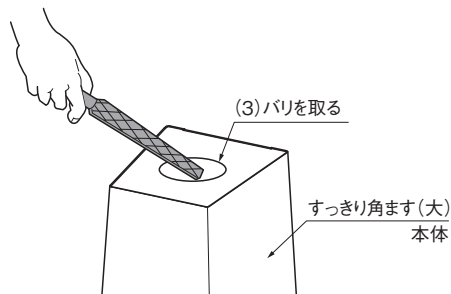
- たてといと壁面の間隔が65mmの時の壁からドレン中心までの距離

自在ドレン			下穴 径 [mm]	たてといサイズ	穴あけ 位置① [mm]
Chic Line	エルボ カン合	Chic Line 89	88	Chic Line 89	109
		Chic Line 114	116	Chic Line 114	122
JIS管用	エルボ カン合	VP・VU65×50	74	VP・VU50	95
		VP・VU75×65	88	VP・VU65	103
				VP・VU65	103
				VP・VU75	109
	パイプ 直結	114×89 (VP・VU100×75用)	116	VP・VU75	109
		VP・VU100×75用)	116	VP・VU100	122
				VP・VU100	122
		VU75×VP75	83	VP・VU75	109
		VU100×VP100(ツバ小)	105	VP・VU100	122
		VU100×VP100			122
		VU125×VP125(ツバ小)	129	VP・VU125	135
VU125×VP125		135			
VU150×VP150(ツバ小)	151	VP・VU150	147		
VU100	105	VU100	122		
一般 たてとい 用	エルボ カン合	75×60	74	60	95
		90×75	88	75	102
				75	102
				90	110

※自在ドレン165×140 (VP150×125) は使用できません。

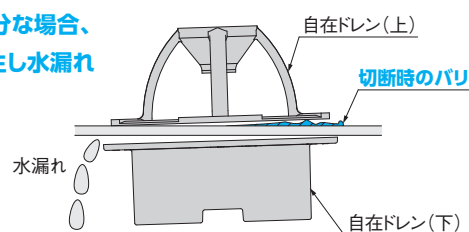


(3) 加工部分のバリをきれいに取り除く。



お願い

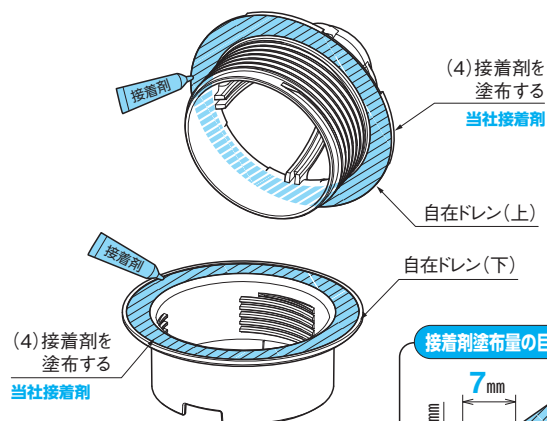
- 切断バリの除去が不十分な場合、バリが挟まり隙間が発生し水漏れのおそれがあります。



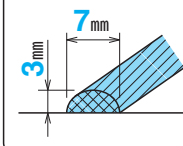
(4) 自在ドレン(上)のツバの裏側と自在ドレン(下)の接続面に接着剤を全周ひも状に切れ目なく塗布する。
(当社接着剤KQ8815をお使いください。)

お願い

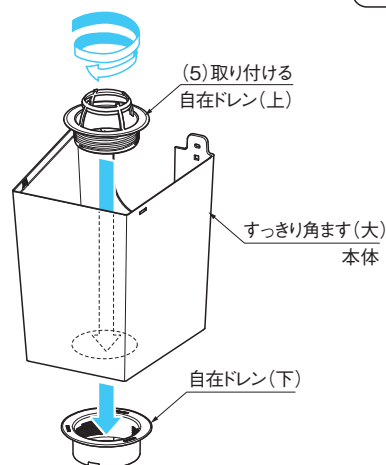
- 当社品以外の接着剤を使用すると、変形・割れが発生するおそれがありますので、必ず当社接着剤をお使いください。
- 接着剤は標準量以上に塗布しないでください。変形、割れなどの原因となります。
- 接着剤を増し塗りしたり、当社タニシールなどコーキング剤を使用したりすると、変形や割れが発生しやすくなりますのでおやめください。
- 接着剤がはみ出した場合は拭き取ってください。



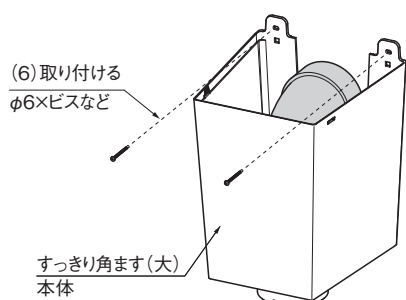
接着剤塗布量の目安



(5) 自在ドレン(上)と自在ドレン(下)をすっきり角ますの穴をあけた部分に取り付ける。



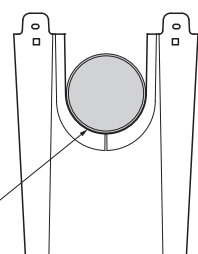
(6) 排水管、エルボの下端に本体背面の切り取り部を合わせて本体を取り付ける(VP・VU125以下)。



お願い

- 排水管または、エルボと本体背面の切り取り部をしっかりと合わせる。背面からの水漏れにより建物を傷めるおそれがあります。

隙間が空かないようにしっかりと合わせる

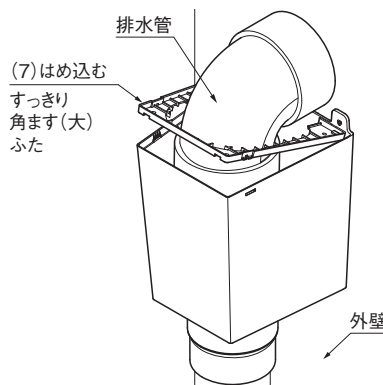


(7) ふたをはめ込む。

【壁面から出る排水管が
VP・VU125以下の場合】

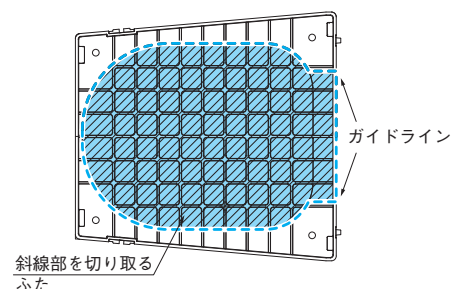


【壁面から出る排水管が
VP・VU150の場合】



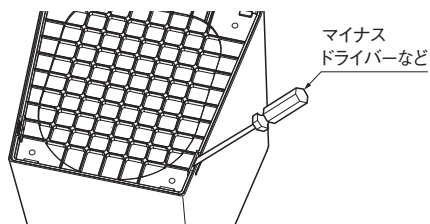
【排水管がVP・VU150の場合】

ガイドラインと外周に合わせて
格子部を切り取る。



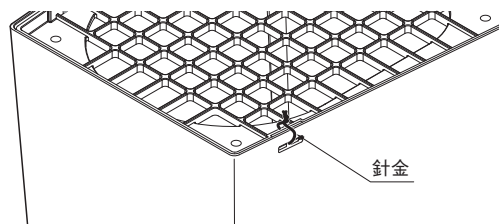
【ふたの取り外し方法】

- 掃除などでふたを外す際は図の様に
マイナスドライバーなどを差し込んでください。



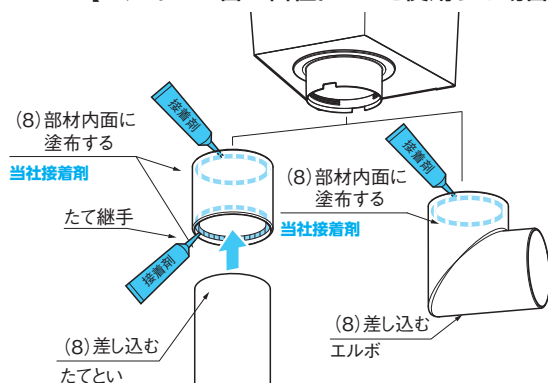
【ふた固定の補強方法】

- ふたを強固に固定したい場合はふたの
針金穴を利用して補強してください。

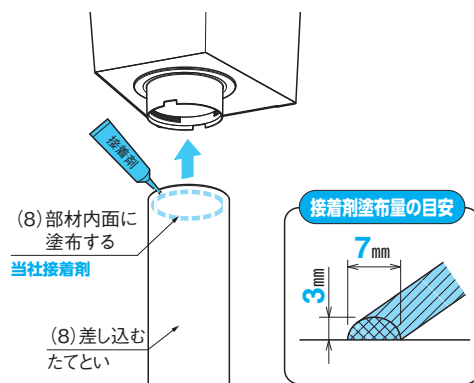


(8) たてとい、エルボなどを取り付ける。

【エルボカン合の自在ドレンを使用する場合】

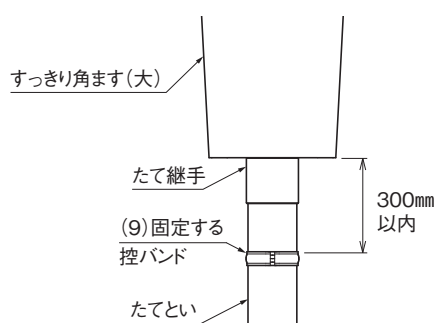


【パイプ直結の自在ドレンを使用する場合】



(9) 接続するたてといの上部を控バンドで固定する。

【壁面から垂直に落とす場合】



【エルボを使って振り施工する場合】

